

「日本的金融からの脱却」について

一橋大学経済研究所 植杉威一郎

要旨

日本の金融市場の競争力というテーマに基づき、その回復の方策を探るためには、競争力があると考えられてきた日本的金融と言われるものの内容を特定した上で、その現状を把握する必要がある。このため、現状把握に基づき日本的金融からの変化の方向性を展望する。

日本的金融の重要な構成要素として、メインバンク制度、リレーションシップ・バンキング、担保や個人保証に依存した貸出、政府による支援措置を取り上げる。それぞれの現状を把握した上で、どのような形での「日本的金融からの脱却」が必要かを論じる。具体的には、これらの要素がより効率的に機能するためには何が変化する必要があるかを議論する。本稿では、企業の資金調達面に焦点を当てた上で、望ましい変化の方向性を記述している。

キーワード：メインバンク制度、リレーションシップ・バンキング、個人保証

JEL classification : G21, G28